

Color Guide & Marking



※余ったマーキングシールは好きな所にはってください。

カラーガイド&マーキング

※よりリアルに仕上げたいかたは、下の基本色をご覧ください。

- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。
- ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。

図を見て、マーキングシールの貼る位置を確認してください。

BEAM SABER/SHIELD

D.R.A.G.O.O.N. PLATFORM

LIBRARIAN
LIBRARIAN NIX

NIX PROVIDENCE GUNDAM

Color Chart

本体などホワイト部の塗装色。
ホワイト (90%) +
RLM75グレー (10%) +
ブラック (極少量)

胸部などイエロー部の塗装色。
イエロー (70%) +
オレンジイエロー (30%)

関節などグレー部の塗装色。
ミッドナイトブルー (90%) +
ホワイト (10%)

本体などレッド部の塗装色。
ワインレッド (100%)

足などブルー部の塗装色。
コバルトブルー (75%) +
ブルーグレー (25%)

カメラなど明るいブルー部の塗装色。
スカイブルー (50%) +
ホワイト (50%)



© 創通・サンライズ

機動戦士ガンダム SEED
VS ASTRAY
ヴァース アストレイ



LIBRARIAN
Created by
LIBRARIAN
WORKS

1/100 SCALE MODEL
SEED DESTINY NO. 20

1/100スケール
LN-ZGMF-X13A
ニクスプロヴィデンスガンダム

BANDAI 2009 MADE IN JAPAN

LN-ZGMF-X13A
NIX PROVIDENCE GUNDAM
LIBRARIAN MOBILE SUIT LN-ZGMF-X13A

MODEL NUMBER/LN-ZGMF-X13A TOTAL HEIGHT/18.44m WEIGHT/90.99t
PILOT/PRAYER REVERIE ARMAMENT/MMI-GAU2 PICUS 76mm CIWS
MA-MUOSA COMPOSITE ARMED SHIELD SYSTEM MA-M221 JUDICIUM BEAM RIFLE(D.R.A.G.O.O.N. STRIKER)
D.R.A.G.O.O.N. SYSTEM (BEAM GUN×43)

●写真の完成品は塗装してあります。

0160403

BAN
DAI



「機動戦士ガンダムSEED」公式外伝としてスタートし、独自の人気を確立している「ASTRAY」シリーズ。今回は、「アストレイ（王道ではない者）VSアストレイ（王道ではない者）」の熱い戦いが繰り広げられる。

舞台は、「DESTINY」の時代。世がザフトと連合に別れて戦いあう中、世界の裏側では、別の小さな戦いが開始されようとしていた。しかし、それは、今は小さくても対処を要すれば、世界を巻き込む大きなうねりとなり得る戦いでもあった……。

PROLOGUE-プロローグ-

ある日、ジャンク屋ロウ・ギールの前に現れた「ライブラリアン」を名乗る組織。彼らは、ロウに対し、すべてを明け渡すことを要求する。そこにはロウの命まで含まれていた。気の悪いロウも、そんな用件を飲めるはずがない。「降りかかる火の粉は払わねばならない」と、レッドフレームで出撃したロウに対し、ライブラリアンは、独自の改良を加えたゲイルストライクガンダムと、もう一機、ロウと同じレッドフレームを出撃させてくる。さらに、レッドフレームの手には、「ガーベラ・ストレート」と対になる刀、「タイガー・ピアス」があった。

「誰だ、お前は!」

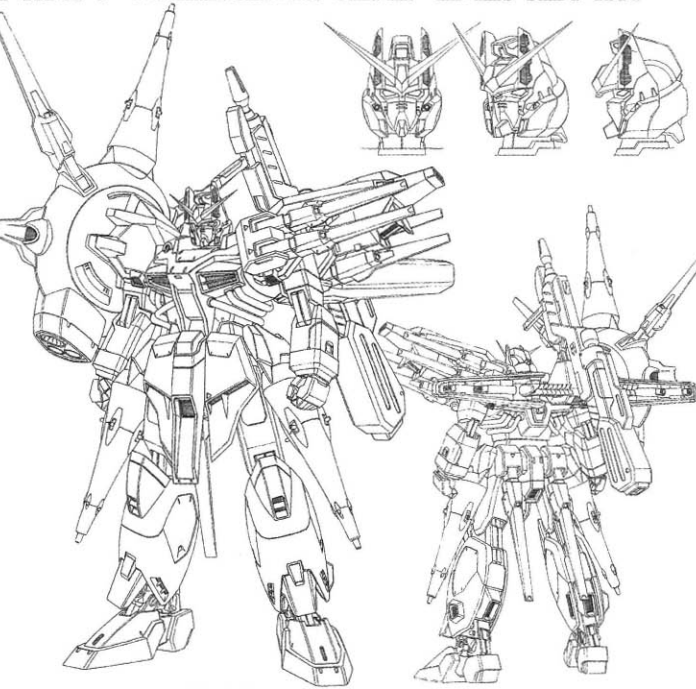
叫ぶロウに対し、答えたもう一機のレッドフレームのパイロット。それは、そこに居るはずのない、「死者」であった……。

一方、同じ頃、ロンド・ミナ・サハクの居城、宇宙ステーション「アメノミハシラ」にも、同じくライブラリアンを名乗る者が現れていた。こちらにもビルスーツは二機。一機は、ヘイルバスターガンダム。そしてもう一機は、アマツに改造される前のゴールドフレーム。

「私は帰ってきた。姉よ、よもや私を忘れたはしまい!」

ロンド・ミナはその声を聞いて、驚愕する。それは忘れられるはずのない声、自分の半身、死んだはずの双子の弟、ロンド・ギナ・サハクのそれであった! 謎を秘めたライブラリアンの侵襲が開始される!

LN-2GMP-X13A NIX PROVIDENCE GUNDAM

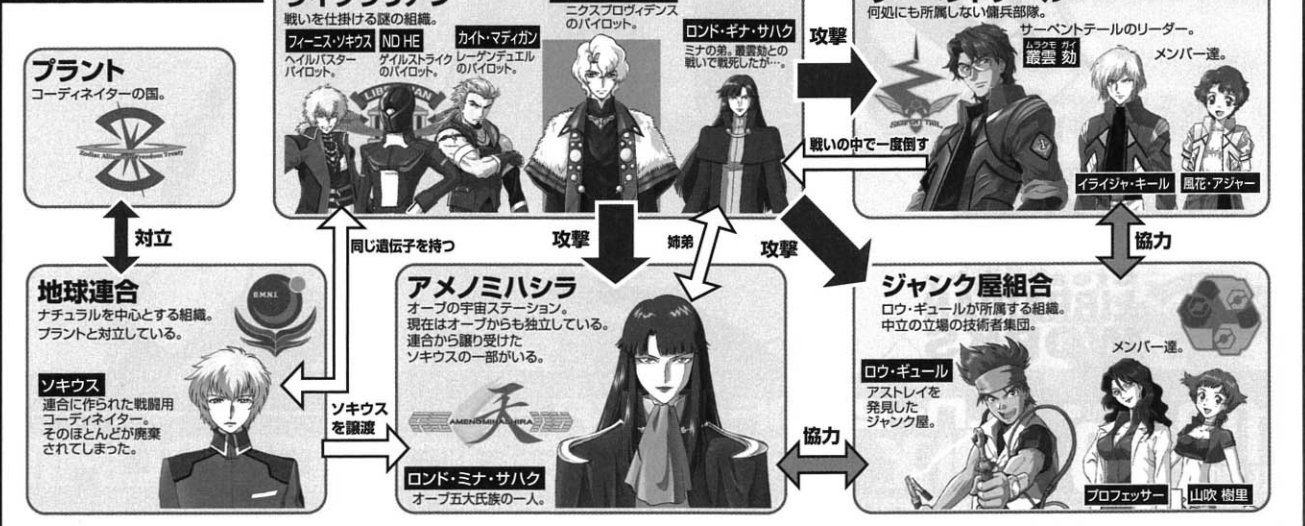


-機体解説-

ザフトによって開発されたZG MF-X13Aプロヴィデンスをライブラリアンが強化再設計した機体。型式番号の頭につく「LN」は「ライブラリアン・ニクス」を意味する。本機の改良点は、より効率の良いドラグーンシステムの運用の一点につきる。ドラグーンのコントロールには、高い空間認識能力が求められる。しかし、この能力はパイロットの個人差も大きい。これに対応するため、ライブラリアンはそれぞれのドラグーンの機体上への配置をパイロットに合わせて、大胆に変更し対応している。結果として得られた左右非対称の配置は、プロヴィデンスのシルエットを大きく変貌させた。また、本機はドラグーンでの戦闘だけを行うため、手持ち武器であった「ユーディキウム」ビームライフルはドラグーンストライカーの一部に、複合兵装防盾システムはショルダーアーマーの一部へと変更されている。元々のプロヴィデンスは、第二次ヤキン・ドゥーエ攻防戦への投入のため、急造された機体であり、胴体部には量子通信ケーブルとパワーケーブルが露出したままになっていた。本機は、その「未完成」部分がそのままになっているが、その理由は「本機で戦わない意思表示」に加え、「機体を持つ歴史的特徴」として残されている。

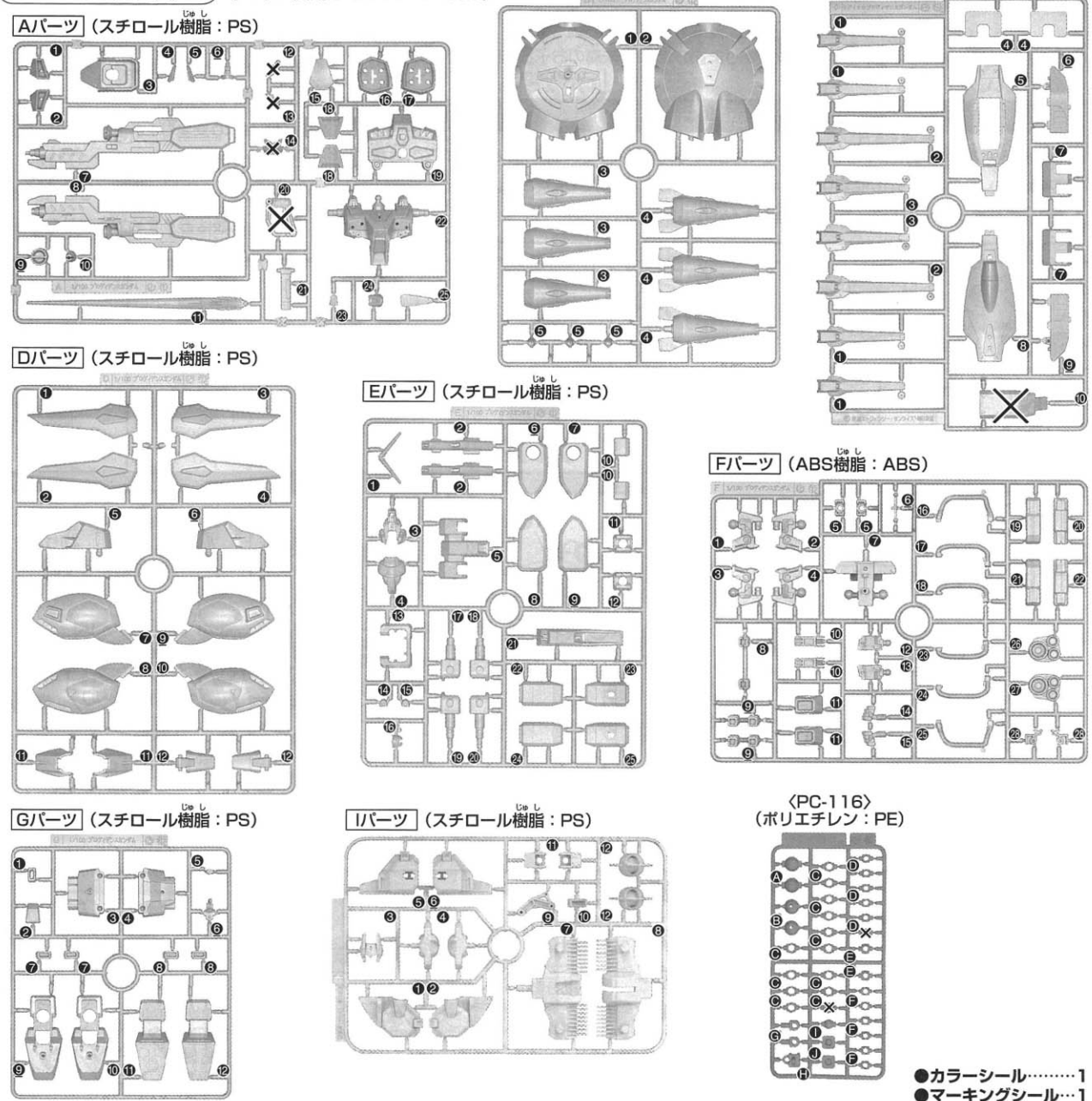


組織/人物 相関図



ライブラリアン(LIBRARIAN)
司書、図書館員の意味を持つ。突然、ジャンク屋のロウや、オーブのロンド・ミナに戦いを仕掛けてきた謎の組織。その本質は、戦争行為や、人民の支配などではなく、独自の価値観にしがたい行動している。組織としての規模は不明だが、これまで開発されたモビルスーツの機体データや、エースパイロットの詳細なデータ(遺伝子レベルにまで及ぶ)を保有している。そのデータを使用し、既存の機体を強化再設計して使用している。軍のワクを越えてデータを保有しているため、予想も付かなかった強化が施された機体も多い。

パーツリスト (X印は使用しないパーツです。)



△警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

△注意 (ちゅうい)

●縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。●部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。



・塗液をするところ



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側に同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・ビスの締めすぎに注意



・切り取る場所



・部品を数値の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



・数値に合わせて回転させます

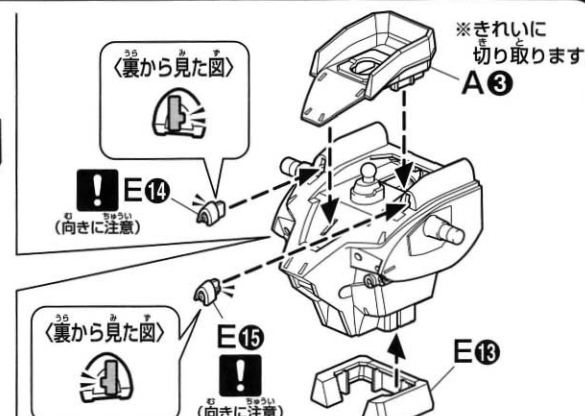
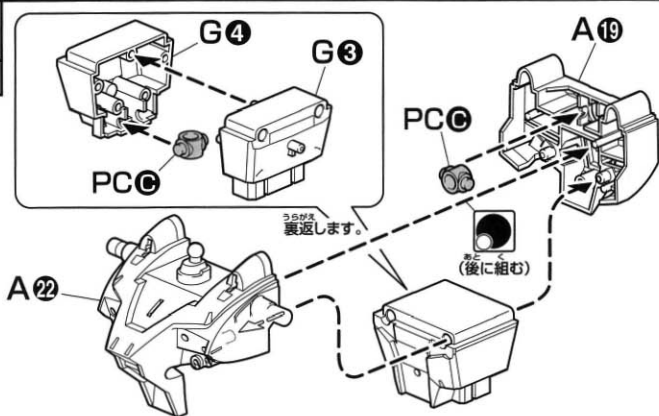


・どちらかを選んで取り付ける

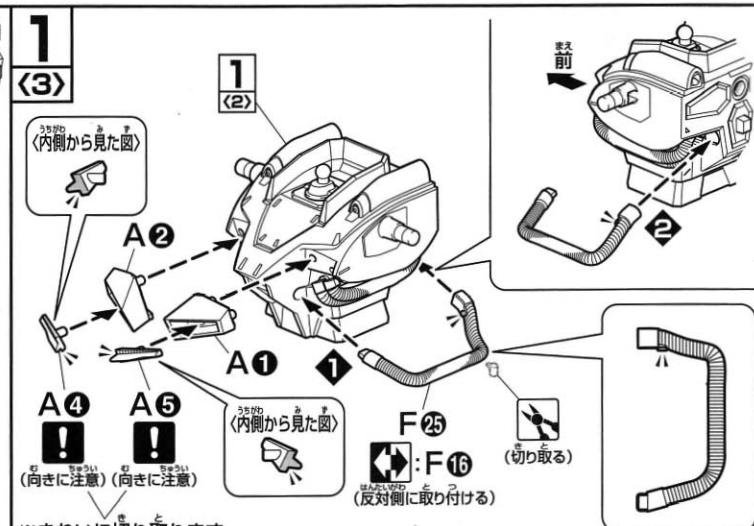
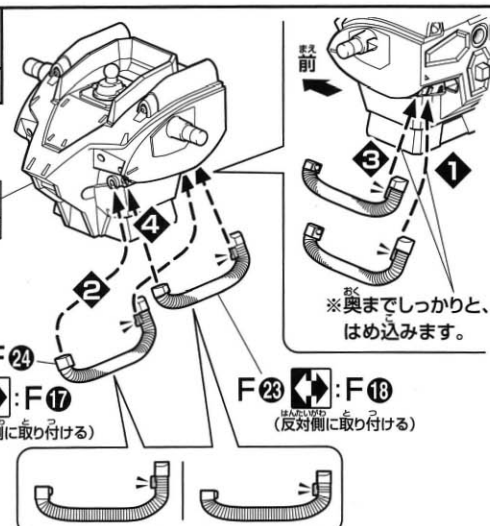


・反対側も同じように動かします

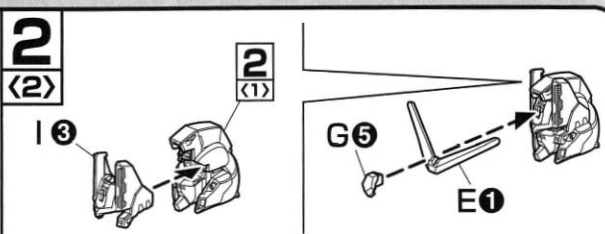
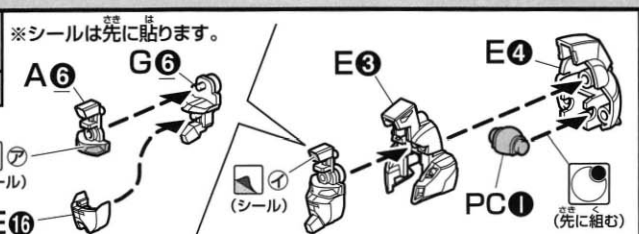
1
(1)



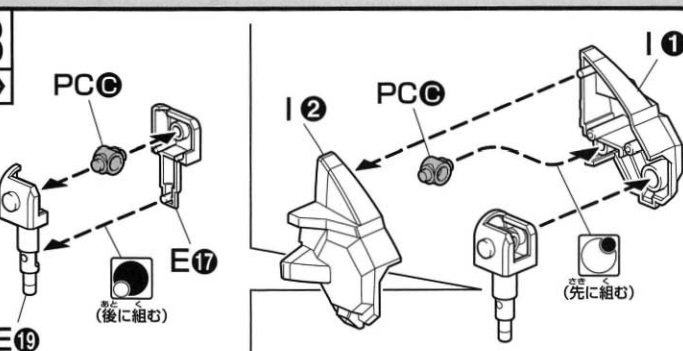
1
(2)



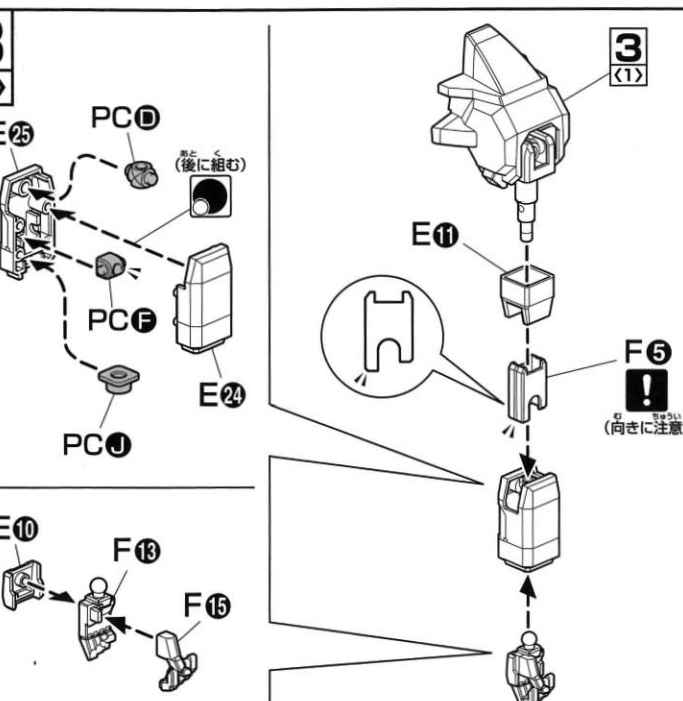
2
(1)



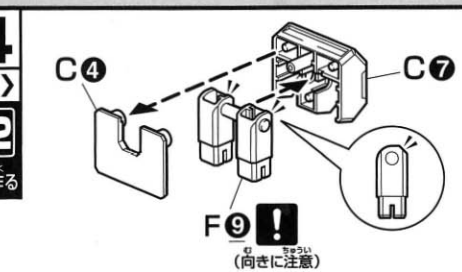
3
(1)



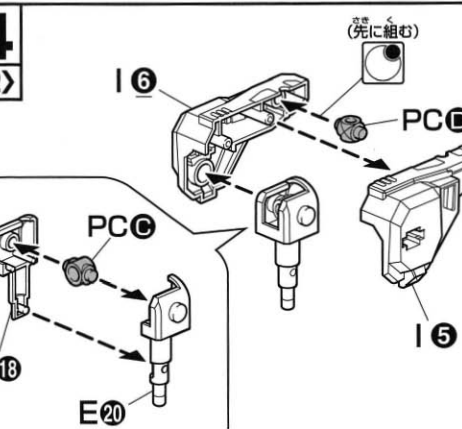
3
(2)



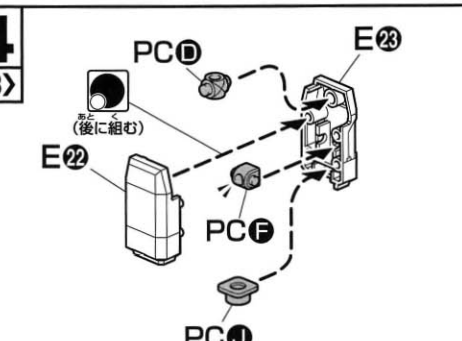
4
(1)



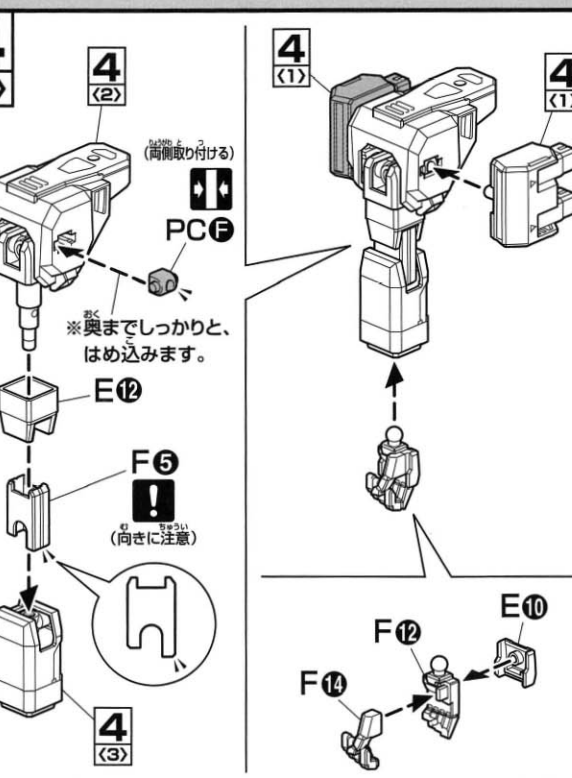
4
(2)



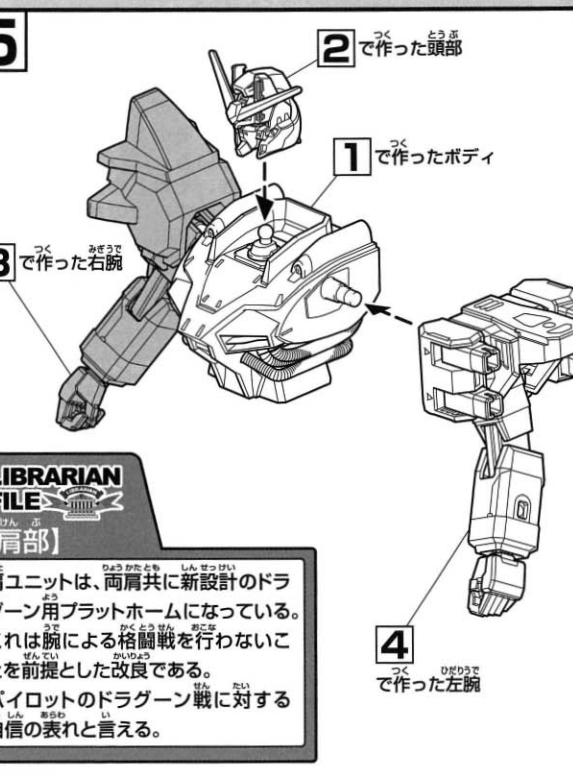
4
(3)



4
(4)



5



【肩部】

肩ユニットは、両肩共に新設計のドラグーン用プラットフォームになっている。これは腕による格闘戦を行わないことを前提とした改良である。パイロットのドラグーン戦に対する自信の表れと言える。

LN-26MF-X13A NIX PROVIDENCE GUNDAM

LIBRARIAN MOBILE SUIT LN-26MF-X13A

SPEC

●機体型式番号:LN-ZGMF-X13A 全高:18.44m 重量:90.99t
武装:MMI-GAU2「ビクス」76mm近接防御用機関砲、MA-MV05A 複合兵装防盾システム
大型ドラグーン、小型ドラグーン、ドラグーンストライカー

FRONT



REAR



-STORY-「ブレア様、ムチャです！」ライブラリアンのメンバーの男が叫ぶ。彼が慌てふためくのも無理はない。組織の中でも重要なメンバーのひとりであり「一族の遺産」を引き継いだ青年ブレア・レヴェリー。彼は愛機であるニクスプロヴィデンスに、ドラグーン以外の武器を装備せずに出撃しようとしているのだ。「この機体で手持ち武器なんて意味がないよ」冷静にブレアが答える。そして、なぜそうなのかを論理立てて説明する。これには男も口を閉ざすしかなかった。男が納得すると、ブレアはそっと安堵した。実際のところ、並べ立てた技術的な理由なんて、彼にとってはどうでもよいことだった。ただひとつの真実、それは「モビルスーツを使った戦闘で人を傷つけない」という想いだ。もちろんドラグーンも攻撃兵器だが、彼はそれを戦闘を防ぐために使うつもりだった。圧倒的な攻撃で戦意を喪失させる。そうすれば敵を必要以上に傷つけなくて済む。「本当はニクス（雪）のように冷たい心を持たなきゃいけないのにね」ブレアは、ひとりで本心をつぶやくのだった。

NIX PROVIDENCE GUNDAM PILOT



LIBRARIAN
ブレア・レヴェリー
(PRAYER REVERIE)

圧倒的な攻撃で戦意を喪失させる 青年ブレア・レヴェリー

ライブラリアンの中でも、高い地位にいる人物。かつてロウ・ギールたちと行動を共にしたブレア・レヴェリーと同じ人物のように見えるが、そのブレアは、もっと幼い時に死亡している。ブレアが死んでおらず成長したのか、それともカーボンヒューマンとしてコピーされたのか、組織内でも秘密になっており、確認不可能である。元々のブレアは空間認識力が高く、ドラグーンシステムをコントロール可能な兵士のクローンであり、この新たに現れたブレアも、そうしたクローンの一人である可能性も否定出来ない。ライブラリアンの彼は、「一族」と呼ばれる組織から引き継いだデータを使うことで、世界を裏からコントロール出来るほどの力を持つ。しかし、彼を含めたライブラリアン全体が、世界支配には興味がないようだ。

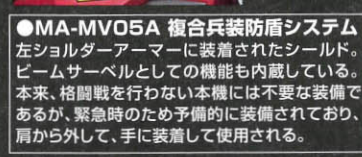
●一族

世界中からデータを集め監視し、情報で世界を裏からコントロールしてきた組織。特定の血のつながりのある一族によって代々組織が運営されてきたため、「一族」と呼ばれるようになった。その歴史はかなり古く、人類が起した戦争の多くに関与してきたらしいが、詳細は不明である。一族は現在では滅んでおり、その組織が存在したこと自体に否定的な歴史学者も多い。しかし、彼らの世界への関与がどの程度だったかは不明だが、組織は実際に存在し、現在でも組織の一部とデータは残されている。ブレアは一族を滅ぼしたマティアスと知り合いであり、そこから一族のデータを引き継ぐことが出来たようだ。

WEAPON SPEC



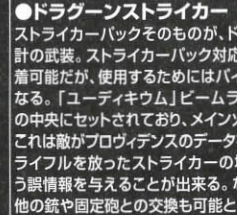
●MMI-GAU2「ビクス」76mm近接防御用機関砲
頭部と、首の横に内蔵された対空砲。威力は低い弾数が多く、ミサイルなどの迎撃に有効。モビルスーツ戦では、牽制などに使用される。本機は量子通信アンテナへの影響を考慮して、頭部二門の弾倉は標準でカラになっている。使用されるのは、首の横に配置された二門のみである。



●MA-MV05A 複合兵装防盾システム
左ショルダーアーマーに装着されたシールド。ビームサーベルとしての機能も内蔵している。本来、格闘戦を行わない本機には不要な装備であるが、緊急時のため予備的に装備されており、肩から外して、手に装着して使用される。



●ドラグーン
大型3機、小型8機を装備する。本体から切り離され、独立した戦闘マシンとして活動でき、敵をあらゆる方向から攻撃する。究極の兵器といえるが、使用するためには特別な能力を持ったパイロットを必要とする。



●ドラグーンストライカー
ストライカーバックそのものが、ドラグーンとなった新設計の武装。ストライカーバック対応の機体なら、すべて装着可能だが、使用するためにはパイロットの適性が必要となる。「ユードキウム」ビームライフルがストライカーの中央にセットされており、メイン火器として使用される。これは敵がプロヴィデンスのデータを保有していた場合に、ライフルを放ったストライカーの場所に本体がいるという誤情報を与えることが出来る。なお、この中央武装は、他の銃や固定砲との交換も可能となっている。

BODY DETAIL



●頭部
頭部には、新たに量子通信アンテナが設置されている。これに加えたことで、ドラグーンのコントロールがより容易に、そして正確に行うことが可能となっている。頭部には「ビクス」76mm近接防御用機関砲もセットされているが、アンテナへの影響を考慮して弾丸は装填されていない。



●ドラグーン・プラトホーム
両肩がドラグーン・プラトホームになっている。左右どちらも新設計であり、パイロットの空間認識能力に合わせて設計採用されたものである。右肩の形状は雪の結晶に似た独特の形状であり、本機が「ニクス（ラテン語の雪）」と名付けられる元になった。一方、腰の左右アーマーも大型ドラグーン専用の特別なドラグーン・プラトホームに変更されている。この腰のプラトホームは、ドラグーンを装着したまま、前方に向け射撃することも可能になっており、ドラグーンでなくても本体武装としても使用される。



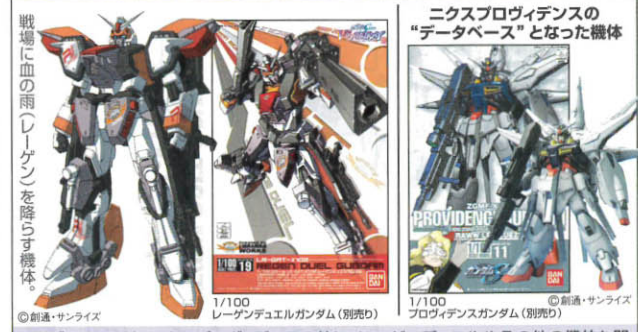
●機動システム
他のライブラリアンの機体同様に各部関節の設計が見直され、全長が若干大型化し機動力もアップしている。しかしながら、本機は本体での戦闘を想定せず、ドラグーンに重きを置いて設計されたため、スラスターの配置がアンバランスになっており、せつかくの機動システムを生かすことが出来ない。

STRIKER PAC レーゲンデュエル(別売り)のストライカーユニットを装着可能。



ライブラリアンは、機体同士の運動も重視しており、組織で開発された他の機体が装備する一部のバックパック兵器をニクスプロヴィデンスで運用することも可能である。

ライブラリアンモビルスーツとニクス開発系譜



ライブラリアンは、ニクスプロヴィデンスの他に、レーゲンデュエルやその他の機体も開発中だ。次々に登場するライブラリアンのモビルスーツに注目しよう。

